

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金	開始 年 度	昭和 43 年度
団 体 名	函館市スポーツ少年団		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	・ 函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	現在 62 の加盟団体で組織され、少年団活動の活性化のため、競技種目ごとの交流・交歓大会や指導者育成事業、団員の体力テストなどを行っている。
目 的	(目 的) 若年層へのスポーツの普及、青少年の健康増進・健全育成に資するとともに、今後より一層の活動の活性化を図る。
・ 効 果	(効 果) 少子化に伴うスポーツ機会の減少等が子どもの体力や運動能力低下を招いているなか、各スポーツ少年団を統括し、各種大会をはじめ、指導者育成や各種講習会を実施する当団体への支援により、青少年のスポーツ振興と健全育成が図られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	繰越金			計
		市	その他					
収 入	26	300		2,167	22			2,489
	27	300	74	2,177	19			2,570
	28	300		1,991	26			2,317
	29	300		1,954	0			2,254
	30	300		1,893	0			2,193
支 出	年 度	事務費	事業費	上部団体 負担金等				計
	26	394	836	1,241				2,471
	27	367	958	1,245				2,570
	28	373	817	1,127				2,317
	29	427	749	1,078				2,254
	30	349	744	1,100				2,193

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金
----------------	-----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	函館市内の11種目62団体を統轄している団体であり、スポーツを通じた青少年の心身の健全な発達を図るため、ジュニアリーダーの養成研修や指導者などへの講習会等を企画し、健全育成と競技力向上に努めていることから公益性が認められる。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	スポーツを通じた青少年の健全育成を図るため重要な役割を担っていることから、今後も支援が必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	厳しい経済状況から会費等の父母負担増は難しく、運営経費の縮減に努めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、適正な補助金額の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	少子化による団体・団員数の減少に伴い、会費収入の減少傾向が続いており、保護者負担の増額も厳しい状況にあることから、民間の助成制度の活用など、自主財源の確保策について協議していく。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金
----------------	-----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

団数, 指導者数, 団員数のほか, 各種交流・研修事業等の内容により, 効果を測定する。

(達成状況)

年度	団数	指導者数(人)	団員数(人)
H27	69	332	1,638
H28	64	318	1,504
H29	63	307	1,437
H30	62	311	1,472

・各種競技交流・交歓事業, 指導者等研修・養成事業, 体力テスト等を実施

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	スポーツに親しむ機会の創設と, スポーツ競技を通じた青少年の健全な育成など, 本市のスポーツ振興にとって有益なものであるが, 各種育成プログラムの開発や指導者・保護者(母集団)への研修等の充実が必要である。

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続 ☒ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助対象経費の見直しを図るなど, 適正な補助金額の設定について検討する。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和3年度		令和3年度